

「ら・ら・らフェスティバル」を開催されました

「ら・ら・らフェスティバル」を終えて

事業委員長 原子 理香

9月8日(日)朝からの秋晴れの日に、野幌公民館にて「ら・ら・らフェスティバル」が開催され、たくさんの方のご来場をいただきました。ありがとうございました。

今年、例年よりも一歩進んだフェスティバルを目指し、新しい試みとして野幌公民館の全館を使用した。生涯学習推進協議会の所属団体の活動を幅広く知っていただけるように、工夫を凝らした体験ブースになっていったと思います。

また各ブースを回っていただき、キーワードを埋めると景品と交換できる初の取り組みも盛況でした。景品として、お子さんには鉛のつかみ取りやお菓子のプレゼントでしたが、鉛のつかみ取りが思いのほか大人気でした。大人の方にはポケットティッシュのセットで、こちらも大人気でした。

駐車場ではピザ作り、ピザ窯焼き体験や初となるキッチンカーの出店がありました。暑い中でしたが、こちらも大盛況でした。

ホールの飲食ブースでは、軽食や野菜の販売があり、来場者の方に好評で、皆さんにたくさん購入していただきました。

ステージ発表では7団体に参加いただき、皆さんと楽しいひとときを過ごせたと思います。

閉会式では「風はみどりの曲」に合わせて、フラダンスと手話が行われました。締めくくりに相応しく、素敵な演出だったと思います。



ステージ発表

さあ行こう！ 我がふるさと江別とともに！

江別まつことええ&北海道情報大学
代表 柏木 真紀子

昨年度から多くのイベントが戻ってきたり、新しいイベントが立ち上がったりのに伴い、我がチームの出番も俄然増えていきました。エッ！と思われるかもしれませんがイベントは復活しても、よさこいの場の復活には時間がかかり、ようやくプログラムの中心にようやくソール踊りの場を設けてもら

えることが増えてきたのが実のところ。ですから、現在の毎週土日のイベント活動は大変以上に、元氣パワーを充電できる大きな喜びなのです。

なかでも「ら・ら・らフェスティバル」は応援して下さる皆様と近い距離にいて、皆様とのコミュニケーションを身近に感じられる最高のステージです。特に今年は、お子さんもお子さんも演舞に加わり、「ええぞよ」の掛け声や手拍子も一段と大きく響いて、会場中が一つの輪になって楽しみ、盛り上がるのができました。フェスティバルを作ったくださったスタッフの皆様にも心よりお礼申し上げます。

有り難いことに今年度は観光特使に任命いただきました。大好きな江別市の魅力や様々な取り組みの様子を、踊りを通して発信していきたいです。これからも、応援よろしくをお願いいたします。

「ら・ら・らフェスティバル」に参加して

文京台一輪車クラブ 刈田 陽子

文京台一輪車クラブは、小学生から大人(御年70代も…)まで一輪車が好きな仲間で、文京台小学校体育館を活動拠点とし、日々練習に励んでおります。1993年に結成され今年で31年目となります。「楽しむ事」を大切に、個々にあったペースで日々活動を行っております。今回、小3〜高2までの学生5名で参加させて頂きました。演技は4曲、約20分のステージ。音楽に合わせた一輪車演技を観て頂きましたが、今回の様なステージ演技の他にマラソン大会や陸上競技場での競技参加等の活動も行っております。このフェスティバルに出演し、当クラブの活動や一輪車の楽しさが一

人でも多くの市民の方々に知って頂く事が出来た事、感謝致します。今後も江別市民の生涯学習の一つとして参加させて頂けると嬉しく思います。



「ら・ら・らフェスティバル」に参加して

大麻西小学校合唱団 阿部 真紀

この度は、ホール発表にお声をかけていただきありがとうございます。コロナ禍の中で団員がどんどん減り、二人という年もありました。コロナが落ち着き始めた頃、合唱しようという子が増えて10名までになりました。しかし、それ以上にはならず、現在は減って7名で活動をしていきます。

ステージに立つことは、発声すること、表現すること、様々なことができます。今回のステージに立てたこと、有意義でした。ありがとうございます。一人でも西小合唱団の歌声をお聴きくださり、団員共々嬉しく思っています。ステージの後、団員たちは楽しそうに会場を巡っていました。



「ら・ら・らフェスティバル」に参加して

江別消費者協会 中井 悦子

今回はステージ発表と体験ブースに参加しました。ステージ発表は協会有志による「しあわせ劇団」の寸劇「だまされました〜パート2」を行い、最近増加傾向にある劇場型投資詐欺を熱演し江別市民が詐欺にあわないように啓発を行いました。観客が少なくちよつと残念でした。

体験ブースでは、リサイクルの一端として「牛乳パックからハガキづくり」を行い、大人も子供も楽しそうでした。牛乳パックの両面のビニールを剥がしミキサーにかかけドロドロにしたものをハガキの型枠に流し込み水分を絞りアイロンを掛けて乾燥するという作業でしたが、60組余りの参加者は、ドロドロパックを枠に入れ、シールを入れたりして思い思いのハガキを作っていました。このドロドロは何からできているの？「牛乳パックからだよ」「へえすすごいね」「できたハガキ誰に出すの？」そんな会話の中の体験で楽しい時間でした。



「ら・ら・らフェスティバル」に参加して

オカリナ・アニマート
代表 平 いく子

私たちは7年前にサークルを立ち上げました。

コロナ禍の前は老人保健施設、こねつとさん、アイサーピスなどで演奏していましたが、以後4年ほど活動できず今に至っています。最近は、自治会などからお声がけいただき、少しずつ演奏の機会が増えてきました。

この度は、ら・ら・らフェスティバルにお誘いいただき、本当にありがとうございます。大きなステージも今回が2度目でしたが、毎回緊張感があります。貴重な経験をさせていただき、感謝いたします。



「ら・ら・らフェスティバル」を終えて

語り・ひとりき居るーぶ
代表 北本 京子

近畿地方から来た学生さんに「北海道にないものは何だと思っ？」と尋ねたところ、「瓦屋根の名所旧跡ですね。」という答えが返ってきました。瓦屋根のほうはないかもしれないし、ない合理的な理由も見当たります。名所旧跡ということになると広く解釈して景色のいいところならば、たくさんあると思うけど、旧跡って五稜郭とか小樽運河はどうかしらと心もとなくなりそうです。江別のことを言えば、「ここには何もありません」と豪語する市民の方に複数会ったことがあるような。



それでも、あなたと私がいればいつの間にか、物語が生まれてくるのではないのでしょうか？
今年のら・ら・らフェスティバルもいろんな出会いがありました。コロナ禍でのいろいろなしほりが無くなって楽しかったです。



体験ブース

ら・ら・らフェスティバルに 参加して

NPO法人えへつ協働ねっとわーく
成田 裕之

今回は、研修室4号をお借りして、江別まち検定の体験が出来るコーナーをもたせて頂きました。江別まち検定は、「もつと江別を好きになつてもらう」ことを目的に開催しているご当地検定で、令和6年で初級が15回目、上級が14回目です。本試験はそれぞれ50問の出題ですが、今回は気軽に組みめる10問の「チャレンジ/江別まち検体験ゲーム」を用意しました。小学生から大人まで、幅広い方に立ち寄って頂き、家族一丸で取り組んで楽しんでくださる方もいらっしゃいました。

体験ゲームは、過去の初級問題の中からランダムで10問出題されます。江別まち検定のホームページ上に用意しており、ご自宅でも気軽に取り組みます。とりわけ、初めて初級を受けられる方の予習には最適です。



以前の試験を受けたけれども、もう一回この機会にチャレンジしたいというご意見もいただき、大変良い機会になりました。

ら・ら・らフェスティバルに 参加して

江別市女性団体協議会
河村 純子

令和6年9月8日(日)〜できること、やりたいことをみつけよう」をテーマに江別市生涯学習推進協議会主催による、ら・ら・らフェスティバルが好天のもと開催されました。

私は女性団体協議会からの参加で、2階研修室にてダンボールコンポストの紹介をさせて頂いていただきました。スタンダラリーの中継点でもありました。2階の会場でお客様が来て下さるか心配しておりましたが他の魅力的な体験ブースもありましたので、幸先良く8組のご家族が野菜クズを利用してのダンボールコンポストの説明に耳を傾けてくださり、テーマの「やりたいこと」に挑戦して下さいました。

仲間が体験して作ってくれたピザを頂き、記録のカメラ撮影の合間にカラー筆ペンを用いた葉書きづくりにも参加してみました。また、各会場で参加している人、見ている人達の輝く笑顔に元気をいただいた一日でした。



ら・ら・らフェスティバルに 参加して

子ども文化ネットワーク・江別
杉中 美津子

昨年度に活動を開始して20周年を迎えた「こねつこ」は子どもたちに、そして大人の方たちにも工作と折り紙を楽しんで頂ける体験ブースに、大変広いスペースを用意していただきました。3枚の折り紙を使い「コマ」を作りましたが、親子3代で参加して下さったおじいさまもとても上手に作って下さり、「コマ」を回すと思いの外きれいに回り、歓声が聞かれました。

工作はこちらの準備不足ではありましたが、作ってくれた姉妹の2人が色を塗ったり、テープを貼って楽しそうに作ってくれた姿が印象的でした。(来年はもっとスムーズにできるよう準備しますね。)



これからのイベント

◆江別子ども劇場 (連絡先/井谷:011-383-9661)

○劇団風の子北海道による
「山を越え 川を越え」を公演します。
日時:2024年12月14日(土)
15時~16時
場所:野幌公民館 ホール

◆江別市家庭問題研究会

○えへつ講演会「前向きな心を育てる言葉がけ〜ペットワーク〜」
内容:ペットワークは、やる気を引き出す励ましの言葉がけです。子育てや教育現場で生かせるスキルを学びます。
日時:2024年11月16日(土)
10時~11時30分
場所:江別市総合社会福祉センター
2階研修室
申込方法:3日前までに電話、FAX、Eメールでお申込みください。
連絡先
TEL:011-381-1062
FAX:011-382-3434
Email:shogaigakushu@city.ebetsu.lg.jp



主に折り紙がメインとなりましたが、お孫さんと参加して下さった方、親子4人、子どもだけでグイグイと積極的に折り紙を作ってくれた女の子、チラッと覗いてくれた「コマ」のお土産を渡すと、とても喜んでくれた子どもたちと楽しい時間を共有させてもらいました。



Now 生涯学習の今

このコーナーでは、QRコードを通してよりリアルタイムな生涯学習情報をお伝えします。



今回は、当協議会の会員である「えへつ手話の会」の最新の活動の様子をホームページに繋げてご紹介します。

手話をまなぼう



「QRコードをスマートフォン・タブレット等のQRコードリーダーで読み取っていただく、手話の動画がご覧になります。今回は「呼びかける会話」です。



まなぼう

江別市菊友会 堀込 廣一
当菊友会は、江別市の花「菊」を通して菊作りの楽しさの普及を目指して活動しています。会員間の親睦を図り、毎年市民文化祭に参加しています。

4月の差し芽に始まり、数回の鉢への植替えを重ねながら、11月の展示会に最高の状態、開花を目標に手入れをしていきます。その他に小菊、スプレー菊等色々な作り方もあります。

皆様も是非菊作りを始めませんか?何か聞きたい事がありましたら、何なりと事務局、会員にお声がけ下さい。



生涯学習推進協議会のホームページ

生涯学習推進協議会のホームページでは、過去の各種事業の様子や、これからのイベントのスケジュールが見られます。QRコードからご覧下さい。



《編集後記》

この夏は猛暑に加え、4年に一度のスポーツの祭典「オリンピック・パラリンピック」がバリで開催されました。世界のアスリートたちの手に汗握る競技をテレビ等で観戦して、熱い感動の夏を過ごされた方も多かったのではないのでしょうか。情報誌「ら・ら・ら」107号は、市民の皆さんに生涯学習を体験していただく場として9月8日に開催した「ら・ら・らフェスティバル」の様子を紹介しています。本誌が皆様のやりたい生涯学習の発見や魅力の気づきに資することがありましたら幸いです。

広報委員会 川口 圭太